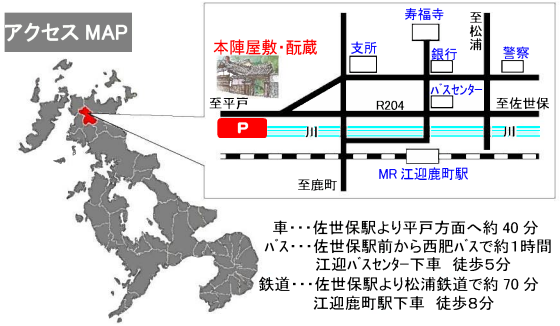
∴本陣 酒 直売所

店 内

駐車場 完備

試飲カウンター

アクセス MAP



車・・・佐世保駅より平戸方面へ約 40 分
バス・・・佐世保駅前から西肥バスで約1時間
江迎バスセンター下車　徒歩5分
鉄道・・・佐世保駅より松浦鉄道で約 70 分
江迎鹿町駅下車　徒歩8分

◆見学のご案内◆　《要予約》

■見学料金

本陣屋敷　大人／100 円　中学生以下／無料
団体 20 名様以上大人／50 円

山下家のもと蔵　無料

■見学時間　9:00～16:00

※予約制ですので見学がご希望日にならない場合がございますのでご了承下さい。

創業元禄元年(1688年) ∴本陣酒造元　潜龍酒造株式会社

〒859-6101　長崎県佐世保市江迎町長坂209番地　TEL 0956-65-2209　FAX 0956-65-2404

E-MAIL mitsuboshi-honjin@cronos.ocn.ne.jp　URL　http://www.sake-honjin.com/

（本陣屋敷全景と酒蔵）

肥前平戸路　史跡酒蔵のしおり

江迎∴本陣屋敷（平戸藩公旅舎址・長崎県指定史跡）

山下家の酝蔵（もとぐら）（長崎県指定有形文化財・建造物）

（山下家の酝蔵）

往時を偲ぶ本陣屋敷址全景及び内部

参勤交代の折や長崎港警備の為御出向きの折、平戸藩専用の御旅舎として（当山下家）定め往還に使用された本陣屋敷址である。（表紙写真掲載）
現在も往時を偲ぶ、御成門、御成の間（**枕水舎**）が保存されている。
御成の間の枕水舎は八畳二間の書院造りの座敷で中央に黒漆塗りの間敷切りふちを入れ上段の間が造られている。（天保元年から二年にかけて再建された枕水舎内部）

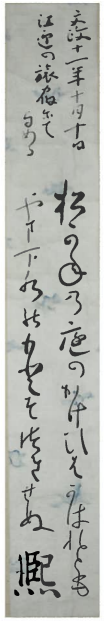
『枕水舎（ちんすいしゃ）』の命名の由来

従来の旅舎の新改築が天保元年に行われ、縁の柱の一本が池水の中に立っている（※下写真）ところから、水を枕にして休む宿舎ということで枕水舎と当時の藩公の観中熙公（かんちゅうひろむこう）が命名され、勘亭流の直筆で書いた螺鈿の額がかかっている。（※右写真）

『枕水舎（ちんすいしゃ）』螺鈿（らでん）の額

厠（かわや）と湯殿

殿様御使用の厠（※上写真）と湯殿がある。これは平成18年に復元されたものである。



文政十一年十月十日
江迎の旅宿にて
句める

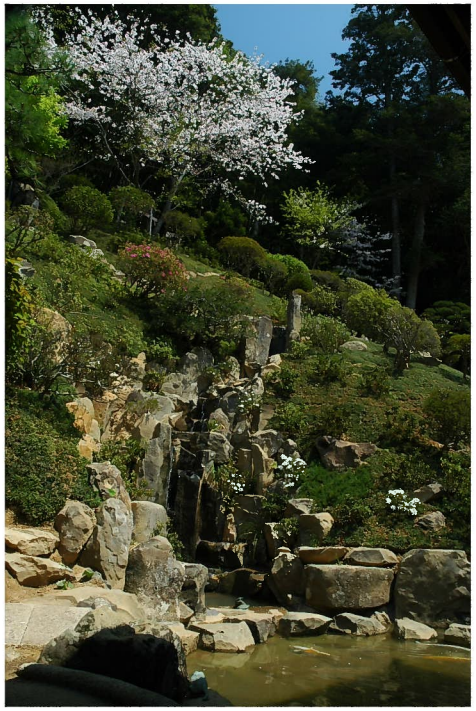
松が年の庭のかけひはかはれども
やました水のもとはつきせぬ。熙（ひろむ）

長崎県指定有形文化財に昭和50年に指定を受けた酝蔵二階内部

元禄元年山下家創業の折に建てられた酝蔵で、傘型の屋根組み二階まで一本柱(約7．5m)で支えられた特殊な酒蔵の造りで、組込みにより釘を全く使用していない組込式の蔵である。

酝蔵の屋根上部の鬼瓦には平戸藩の紋所の∴が入っている。

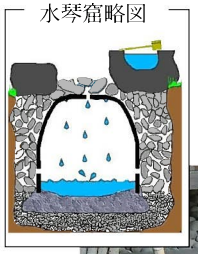
1869年にｱﾒﾘｶのｷﾞﾙﾊﾞｰﾄﾞ社で製作され、形状が八角は非常に珍しく日本には明治25年に輸入された由緒ある日付を示す三針時計です。



『築山（つきやま）』

表庭と同じ京都の庭師が造った。過去に地滑り等の被害を一部受けたが平成二十年四月に復旧された。

水琴窟略図



水琴窟（すいきんくつ）

築山と同じ京都の庭師が造り、表庭の茶室に入る角の蹲（つくばい）にある。自然石の手水鉢の側下にあって、手洗いの水を流すと妙なる琴に似た音色を奏でる。